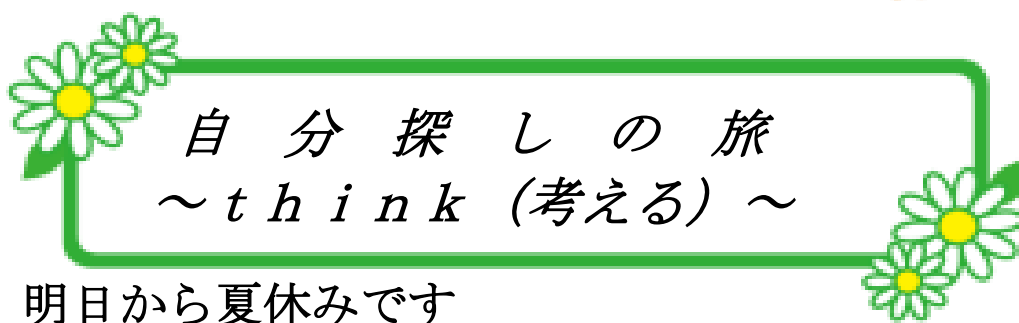




令和8年度2年部学年日より
令和8年7月23日(木)

明日から夏休みです

明日から夏休みが始まります。4月の進級以来、保護者の皆様には本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。日々の健康管理や学校生活への励ましなど、温かい御支援のおかげで、生徒たちは日常の学習や林間学校の行事など、さまざまな活動に前向きに取り組み、充実した学校生活を送ることができました。

中学2年生は、学校生活にも慣れ、心身ともに大きく成長する時期です。その一方で、自分の将来について少しずつ考え始める大切な学年でもあります。来年はいよいよ受験生となります。進路選択は3年生になってから始まるものではなく、今の学習習慣や生活習慣の積み重ねが土台となります。夏休みは、自分の学習を見直し、苦手分野の克服や基礎学力の定着に取り組む絶好の機会です。宿題を計画的に進めることはもちろん、読書や自主学習にも積極的に取り組み、自ら学ぶ力を伸ばしてほしいと思います。また、部活動や家庭での役割、地域での活動などにも主体的に参加し、さまざまな経験を通して視野を広げてほしいと願っています。

夏休み中は生活リズムが乱れやすくなります。規則正しい生活を心掛けるとともに、交通事故や水の事故、SNS等によるトラブルには十分注意し、安全で健康的な毎日を過ごしてほしいと思います。

夏休み明けには学校行事である合唱発表会や運動会があります。また、後期になると生徒会活動の中心が2年生となり、さらに活躍する場面が増えていきます。一人ひとりが充実した夏休みを過ごし、一回り成長したお子様に会えることを教職員一同楽しみにしています。引き続き、保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

夏休み中の課題

夏休み中の課題と8月テストの範囲を、「夏休みのしおり」に記載し、生徒に配布いたしました。下記にも記載いたしますので、保護者の方々にも周知いただき、定期的に声掛けをお願いいたします。

教科	課題	提出日	連絡など
国語	□応募作品(作文と書写) ・作文は複数から1つ選択し、全員が書く。 ・書写は任意です。	8月6日(木) 16:00まで	学校の集配ポストに提出する。 詳細は授業で説明済み。
数学	□基礎問題集 p22~26 □DODプリント冊子	テスト後に回収 8月25日(火)	基礎問題集は、8月テストの返却時に回収します。
理科	□理科の自由研究 or 科学作品 □理科の学習 化学分野 p74~103 生物分野 p2~5	8月25日(火) 8月27日(木)	授業内で伝えたとおりです。評価にいきます。
英語	□新英語のワーク p49 まで(p46,47を除く) □ミライシードの課題配信されているところ (自主課題)	8月27日(木) 教科係が回収し、放課後までに各クラスの集配ポストに提出	8月テストに向けて、ワークで重要な部分を確認しておきましょう！ミライシードを解いて、練習を積んでいきましょう！
音楽	□合唱曲の調べ学習	8月25日(火)	A4の紙を1枚渡します。そこに、自分のクラスの合唱曲について【イメージ画・強弱・作詞作曲者について・曲の背景・曲に対する思い】などをまとめて書きましょう。(見本は、音楽室の背面に貼ってあるので、見ておくこと)
美術	□ポスターコンクール(任意)	8月25日(火)	やりたい人だけで大丈夫です。詳しいことは授業で伝えます。
家庭科	□お弁当コンテスト	8月24日(月) までに提出	ロイロで提出になります。提出箱に提出してください。 詳細は授業で説明済み。

※裏面には『服のカプロジェクト』の内容が記載されています。

『服の力プロジェクト』への御協力をお願い

7月17日（金）の総合学習の時間に、株式会社ファーストリテイリングの方を講師に招き、「難民問題」や「服の持っている力」、「働くことの意味」などの講話をいただきました。講話の中に、会社が大事にしている理念を語る場面を多く聞くことができました。今後キャリア学習を進めていくにあたり、生徒たちにとってとても新鮮で刺激的な時間となったはずです。最後に質問や感想を言うときでは、多くの人が発言してくれ、生徒たちの興味の高さを感じました。

さて、キャリア学習を進めていくと同時に、「服の力プロジェクト」も並行して活動していこうと考えています。夏休み明けに生徒たちの中からプロジェクトメンバーを募り、どのように活動していこうかを検討していく予定です。今後、プロジェクトメンバーから、着られなくなった子ども服の回収の呼び掛けがあるかと思います。その際には、お家にある着れなくなった子ども服を、お子様を通じて回収させていただけたらと思います。御協力お願いいたします。

“届けよう、服のチカラ”プロジェクトは、ファーストリテイリングが UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに取り組む、小・中・高校生が対象の参加型の学習プログラムです。社員による出張授業を受けたのち、子どもたちが主体となって、校内や地域で着れなくなった子ども服を回収します。回収した服は、難民などの服を必要とする人々に届けられます。【ユネスコスクールホームページより抜粋】

生徒の振り返りを一部抜粋

- ・難民は世界に1億人以上いて、その40%が18歳未満ということを知り驚きました。服には、命を守る役割、社会とのつながり、自分の気持ちを表す役割があると知り、ファッションやおしゃれだけでなく、たくさんの人の役に立てるのだと知り、改めて服の大切さを感じました。
- ・将来就きたい仕事とあまり関係はないけれど、共通点は「人を笑顔にする、したい」じゃないかと思いました。サッカーでたくさんの人を感動させて笑顔にしたい！今回のユニクロのすてきな活動にも積極的に取り組んでいきたいです。
- ・これからは1人でも多くの人が安心して生活できるように自分の着れなくなった服・着れない服はユニクロ、GUに寄付しようと思う。また、SDGsの12個目の目標である「作る責任、使う責任」を意識し、より長持ちするように大切に使ったり、別の用途で使ったりするなど、工夫していくことが必要だと思った。
- ・自由に服を着たり買ったりできない子もいるということを理解し、最後まで大事に服を着たり、自分が着れなくなった服があったら、捨てる前に他に活用できる方法を探したりしていきたいです。将来、誰かの役に立てるような活動をしていきたいです。いろいろな仕事に関心を持って、自分のやりたいことを見つけていきたいです。
- ・難民が1億2320万人いるということが驚きでした、その内の約40%が18歳未満で、自分と歳の近い子ども達が自分の国を追われて、他の国に逃げているなんて初めて知りました、動画を観て、自分が着れなくなった服を送るだけであんなに笑顔になるなんて思いませんでした。自分も難民の人たちを少しでも笑顔にできるように、プロジェクトに積極的に参加したいと思いました。

